

システムマネジメント学科 PBL 新宮町立花小学校 ICT 教育プロジェクト ～関係者への模擬授業を実施しました！～

システムマネジメント学科 3 年生で取り組んでいる 3 つの課題解決型学習（Project based Learning ; PBL と略）のうち、『新宮町 ICT 教育プロジェクト』がフル活動中です！ 来年 2 月に実施予定の立花小学校 6 年生への特別授業へ向け、12 月 11 日に関係者の皆様をお招きし、模擬授業を実施しました。

今回は、プロジェクトメンバーが 2 グループに分かれて、システムマネジメント学科の学びの軸である「統計学」と「オペレーションズ・リサーチ」を基に考えた“ICT を活用した授業”を提案。立花小学校の安部校長先生、吉松教頭先生、原口先生、新宮町学校教育課職員 3 名の計 6 名の方々に前に緊張しながらのスタートとなりました。各グループが 45 分ずつ模擬授業を行い、意見や感想を頂戴するとともに、どちらの授業を実施するかを検討をお願いしたところ・・・、学生たちの創意工夫が評価され、授業の完成度を高めることを条件に、2 つの授業を両方とも受けさせたいとの回答をいただきました。2 月 15 日の本番に向けて、まだまだ熱い活動が続く模様です！



模擬授業① パソコンを活用して新宮町を知ろう

◇概要：新宮町の人口増加について、手作業と Excel で折れ線グラフを作成し、急激な人口増加の要因について考える。

◇目標：Excel の便利さに気づくこと。

◇関係者からのコメント

6 年生ではクリック等の PC 操作やグラフの用途については既に学習しているので、児童が自分で Excel にデータを入力した方が良い。人口増加の要因について関連する要素だけでなく、関連のない要素も盛り込む等、児童自身が考えるよう工夫してほしい。

模擬授業② パソコンにふれることでパソコンを知ろう

◇概要：ナップサックにお菓子を入れる組み合わせについて、値段や満足度を考慮し、PC を使って最適な組み合わせを見つける。

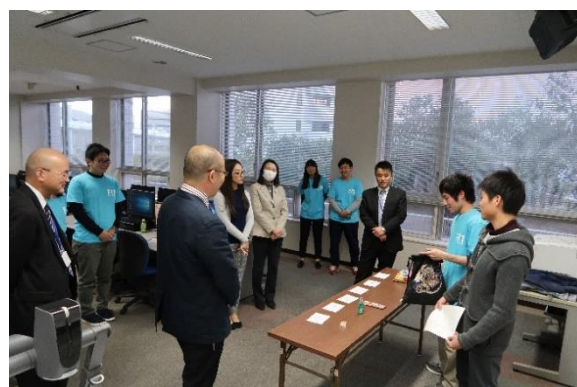
◇目的：PC に触れ、便利さを実感し応用性について考えること。

◇関係者からのコメント

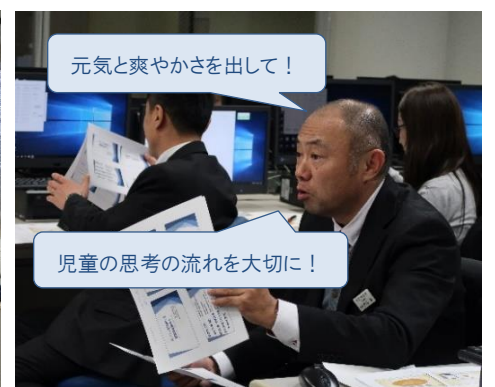
お菓子が 6 種類では 64 通りの組み合わせが、10 種類に増えると 1,024 通りになるというのが児童にはわかりづらい。児童の驚きや興味を刺激するには「なんでこんなに PC は早く答えが出せると!?」という実感が不可欠。応用性についてはヒントを出しても良いのでは。



新宮町の人口をヤマト・DM 観客数に例えて質問



大学レベルのナップ・サック問題をアレンジした授業



熱い助言をくださった安部校長先生